


## 2019 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	国際ユース環境会議	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学・工学部・4年生
	ふりがな 氏名	しらいゆうた 白井悠太
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学・教員・わたなべりゆういち 渡辺隆一

活動名	国際ユース環境会議
実施時期	2019年9月7,8日
実施場所	長野市少年錬成センター
活動内容	<p>国際ユース環境会議は、2011年の長野市環境子どもサミットで「環境 X 国際交流」をキーワードに呼びかけ、関心のあるメンバーで開催したイベント。世界を知ることで得られる広い視野をもったユースの育成を通して、このイベントに集まった多様な世代、職種、地域の人々との繋がりからなるプラットフォームを作り、地域に根付いた環境活動を生み出すことを目標としている。ここで言う「ユース」は小学生から大学生のことを指し、あえて限定せずに「ユース」とすることで幅広い年代の学生が集まり、お互いの成長を促進させる考えがある。また、今までは大人主体でやっていたこのイベントをユース主体で行うという新しい試みもあり、さらにユース同士が活発になれるように活動している。</p>  
活動の成果と今後の課題	<p>ユースの参加者が7人であったために、これまでに比べてより深いディスカッションを多くの場面で行うことができた。また、実験器具を用いることでテーマである「エネルギー」を実際に感じてもらったり、ジビエを解体から行ってもらったりとなかなか体験できないようなことも実施することができた。その結果、1人1人が自然環境も含めた自分の将来について考える良いきっかけになったのではないかと思う。課題としてまずは宣伝方法。これまでは小中高校にチラシを配ってもらっていたのだが、今後はSNS等で広めるなど新しい宣伝方法を考える必要がある。もう一つはどう継続させていくかである。次の企画を行うユースがいるのか、運営の高齢化、イベントの構成など大きくこの3点を継続させていく上で考えていかなければならない。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。